

ハンブルグ大学インド学セミナー

立川 武蔵

ハンブルグ市中央駅から国電で西へ三分あまりのところにダムトア駅があり、そこから十分程歩くと、ハンブルグ大学のインド学セミナー(Seminar fuer Kultur und Geschichte Indiens)がある。

バス通りに面したかなり大きな建物の三、四階がセミナーで、二階はゼロツクス・コピーの店、一階は銀行である。三階には演習室、事務室、教授室、四階には読書室、図書室がある。図書は、サンスクリット、パーリ、ヒンディー、タミール、チベット、モンゴル、歴史、社会学、宗教学、美術、考古学、雑誌というようにほとんどすべての分野にわたって集められている。インド学セミナーはチベット学部門をも含んでおり、又建物は別だが中国学セミナーには「タイ・ビルマ・インドシナ部門」がある。中国学セミナーと並んで日本学セミナーも設けられており、仏教関係の和書も多く収められている。

インド学のスタッフは、Albrecht Wezler, Lambert Schmit-hausen, Srinivasa Ayya Srinivasan の三教授、Bahadur Singh, Lobsang Dargyay の二講師、それに Claus Oetke 助手である。1979年の10月、冬学期の始つたとき、『デブン仏教史』の著者、チベット学の Kenday Lotyo 教授が突然亡くなられた。

10月の初めにセミナーに着いたわたしは、教授とは二度はかりお茶の時間に一緒になつただけで、講義を聴くことはできなかつた。

ヴェツラー教授は、サンスクリット文法、詩、ウパニシャッド、論理学、認識論、ヨーガなどの講義・演習を受け持たれている。文法学などに著書が多いが、最近では *Die wahren "Speiseresteesser"* (Skt.

vighaśāsin) Beiträge zur Kenntnis der indischen Kultur- und Religionsgeschichte I, Akademie der Wissenschaften und der Literatur, Mainz, 1978

を出版されている。ドイツが行なっているネパールにおける文献収集のプロジェクトのため毎年一、二回はネパールに行かれる。

シュミットハウゼン教授は、サンスクリット初級、仏教学、カンニエール・シャイヴィズムなどを担当されている。1979～80年の冬学期には、初期仏教における三昧について講義された。「古代のインド人がどのような宗教体験をしたのか、それを追体験することは困難であるが、彼らとその体験をどのように表現しているのかは学的に追究できる」というのが教授の研究態度であると思われる。日本人はともすれば、「自分は仏教徒である」と信ずるあまり、二千年も前のインド仏教徒の宗教体験も日本人のそれと同じであると考えがちである。

しかし、このことはインド仏教の理解にとつて必ずしも幸いなことではないであろう。シュミットハウゼン教授は、漢訳、チベット語、日本語の資料を十二分に用いながら、パーリ及びサンスクリットのテキストを分析することによつて、教授はインド人の宗教体験がどのようにテキスト表現され、更にその表現形式がどのように伝承、変化されていつたかを研究されている。

シュミットハウゼン教授宅はハンブルグ市郊外の森の中にある。家のまわりは苔とハイデが地面をおおい、その上を檜、杉、松、樅、さらには高野槇などの枝がのびている。椿と南天を根づかせたいと語つておられた。

シュリーニヴァーサン教授は、サンスクリット、タミール、テルグを担当しておられる。

教授には *Vācaspati miśras Tattvakaumudī*, Hamburg,

1967 などの著書があり、その研究領域はすこぶる広い。ハンブルグのセミナーではサンスクリット古典研究が中心ではあるが、シュリーニヴァーサン教授やヒンディー語のシン講師についてサンスクリット以外のものを専

攻める学生も年々増えてきている。

チベット部門にはロト教授の死後、先学期（1979～80年、冬）にはボンからダギヤブ講師が、今学期（1980年夏）はミュンヘンからダルゲ講師が来られている。このセミナーには南インドやネパールでチベット憎についてチベット語を学んだ学生がいる。

エトケ助手の研究領域の広さにも驚かされる。サンスクリット、ヒンディー文学、チベット語、中国語という具合で、先学期は哲学科でワイトゲンシュタインを講じ、インド学セミナーではチベット語、ヒンディー文学を担当し、ウダヤナの *Āmatattvaviveka* を演習で読まれた。

セミナーの部門ではないが、ハンブルグ市にはチベット・センターがあり、チベット憎トウプテン・ガワン師が中心となつて、講義などが行なわれている。現在は、チベット論理学の教科書と、ダライ I 世の『入中論註』を読んでいる。インド学セミナーの学生、それにわたしもこの講義に出席している。

セミナーから歩いて10分ほどの距離のところに民俗学博物館があり、その中に、インド、タイ、ビルマ、ネパール、中国、日本などの部門がある。それらの国々の寺院や住居の内部が再現されており、美術館では見ることのできないものがある。日本にもこのような博物館が各地にあればと思う。

以下は1980年夏学期のインド学セミナーの授業リストである。

I. a) Alt- und Mittelindische Philologie

- | | | |
|--------|--|----------------------|
| 10.001 | Upaniṣaden-Lektüre | |
| | 2st. n.V. | Claus Oetke |
| 10.002 | Lektüre eines leichteren Sanskrit-Textes | |
| | 2st. n.V. | Claus Oetke |
| 10.003 | Sanskrit für Fortgeschrittene | |
| | 3st. n.V. | Lambert Schmithausen |
| 10.004 | Kaschmirischer Śivaismus | |
| | 2st. n.V. | Lambert Schmithausen |

- 10.005 Lektüre eines Mahāyānasūtra
3st. n.V. Lambert Schmithausen
- 10.006 Madhyamika-kārikā
3st. n.V. Lambert Schmithausen,
Claus Oetke,
Srinivasa A. Srinivasan,
Albrecht Wezler
- 10.007 Übungen zu buddhi, manas, citta und
Verwandtem in der Gītā
2st. n.V. Srinivasa A. Srinivasan
- 10.008 Lektüre eines südindischen Śaivāgama
2st. n.V. Albrecht Wezler
- 10.009 Yogasūtra mit Bhāṣya und Vivaraṇa
4st. n.V. Albrecht Wezler
- 10.010 Lektüre eines Kunstgedichts
2st. n.V. Albrecht Wezler
- b) Neu-indoarische Philologie
- 10.031 Hindi für Fortgeschrittene
4st. n.V. Bahadur Singh
- 10.032 Leichte Prosalektüre
2st. n.V. Bahadur Singh
- 10.033 Lektüre ausgewählter Kurzgeschichten
von Mohan Rakesh
2st. n.V. Bahadur Singh
- 10.034 Übungen zur Hindi-Zeitungssprache
2st. n.V. Bahadur Singh
- 10.035 Übersetzungsübung Deutsch-Hindi
2st. n.V. Bahadur Singh
- c) Dravidische Philologie
- 10.061 Tamil für Fortgeschrittene
2st. n.V. Srinivasa A. Srinivasan
- 10.062 Das Verb im Tolkāppiyam
2st. n.V. Srinivasa A. Srinivasan

- 10.063 Civaṇānapōtam (Fortsetzung)
2st. n.V. Srinivasa A. Srinivasan
- 10.064 Übungen zu religiösem Streitgespräch
im Cilappatikaram
2st. n.V. Srinivasa A. Srinivasan
- 10.065 Palnāṭi-vīrula-katha: Übungen
zu mündlich überlieferter
Telugu-Heldendichtung
2st. n.V. Srinivasa A. Srinivasan

II. Tibetische Philologie

- 10.081 Neutibetisch für Fortgeschrittene
2st. n.V. Lobsang Dargyay
- 10.082 Lta ba 'i khyad par von Ye śes sde
4st. n.V. Lobsang Dargyay
- 10.083 Bstan pa 'i rnam bźag von Bdud 'joms
rin po che
2st. n.V. Lobsang Dargyay
- 10.084 Klassisches Tibetisch für Fortgeschrittene
3st. n.V. Claus Oetke

(1980年4月)